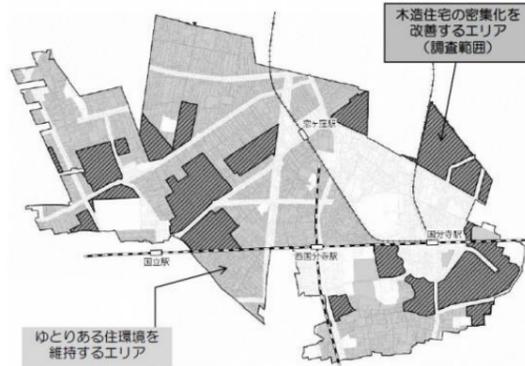


1 各種意向調査の概要

まちづくりの進捗状況や、地域の課題を整理した上で作成した「第一種低層住居専用地域指定エリア（一低層エリア）のまちづくりの方向性（たたき台）」について、市民のみなさんや関係団体からご意見を伺うため、下記の意向調査等を実施しました。その結果は、以下に示すとおりです。

① アンケート調査

調査対象	一低層エリアのうち「木造住宅の密集化を改善するエリア」の居住者
調査方法	配布：ポスティング、回収：郵送
調査時期	平成 29 年 12 月
配布数	3,000 件
回収数	825 件（27.5%）



② 市民懇談会

実施日時 ・場所	①平成 29 年 8 月 20 日（日） 14:00～15:30 市役所第 1 庁舎 3 階第 1・2 委員会室
	②平成 29 年 8 月 23 日（水） 19:00～20:30 ひかりプラザ 2 階 203・204 会議室
参加者	6 名



③ 地域懇談会

実施日時 ・場所	①平成 29 年 11 月 18 日（土） 14:00～15:30 ひかりプラザ 2 階 203・204 会議室
	②平成 29 年 11 月 22 日（水） 19:00～20:30 L ホール B ホール
参加者	41 名



④ 団体ヒアリング

対象団体	<ul style="list-style-type: none"> 公益社団法人東京都宅地建物取引業協会 国分寺国立支部 JA 東京むさし 国分寺支店 資産管理部 防災まちづくり推進地区 東恋ヶ窪六丁目自治会、高木町自治会、本多連合町会、戸倉自治会
実施時期	平成 29 年 12 月～平成 30 年 1 月

2 アンケート調査結果

アンケート調査では、まちづくりの方向性（たたき台）の各項目に対して、重視度を回答いただいた結果、全ての項目において 8 割以上が「重要である」「やや重要である」と回答しています。また、その他の項目も「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」という回答が多くなっています。

「重要である」、「やや重要である」の割合の合計が 80%以上の項目を網がけしています。

項目	重要、やや重要な回答割合	回答結果
まちづくりの方向性（たたき台）について	建築物の耐火性の向上	93.0% 重要である: 71.6%, やや重要である: 21.4%
	敷地の細分化の抑制	87.3% 重要である: 63.3%, やや重要である: 24.0%
	建築物の建替え促進	81.1% 重要である: 52.3%, やや重要である: 28.8%
	道路状空間の確保	90.5% 重要である: 68.6%, やや重要である: 21.9%
その他	農業関連施設の立地	72.4% 必要だと思う: 39.1%, どちらかといえば必要だと思う: 33.3%

※まちづくりの方向性（たたき台）に対する意見は、「重要である」を 5 点、「重要ではない」を 1 点として、合計点を算出。
 ※その他に対する意見は、「必要だと思う」を 5 点、「必要だと思わない」を 1 点として、合計点を算出。
 ※回収数から「わからない」、「無回答」を除いた合計で算出。
 ※小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、合計値が一致しない場合がある。

3

各意向調査でいただいた主なご意見

各意向調査で地域の皆さまからいただいた主なご意見の内容は以下のとおりです。

①まちづくりの方向性等に関する意見

建築物の耐火性の向上	○建築物の耐火性の向上が必要
敷地の細分化の抑制	○敷地の細分化, 狭小化が進んでいると感じる ○敷地の細分化, 建築物の密集化の抑制が必要 ○敷地面積の最低限度の導入が必要 ○隣地とのゆとりの確保が必要 ○基準値の慎重な検討が必要
容積率の見直しなど, 建築物の建替えの促進	○容積率の見直しが必要 ○見直しによる住環境への配慮が必要 ○建替え促進のためには他の要因もあるのでは
壁面後退, 道路状空間の確保など, 道路について	○道路・歩道が狭くて危険 ○道路の整備, 確保が必要 ○歩行者, 車両, 自転車それぞれの通行環境の確保が必要 ○壁面後退, 道路状空間の確保が必要 ○壁面後退は慎重に検討してほしい ○壁面後退が連続しておらず不十分 ○行き止まり道路, クランク, 旗竿地等の改善が必要 ○一方通行化, 通り抜け交通等に関するルールの検討が必要
ブロック塀の撤去, 生け垣の設置等への対策	○ブロック塀は撤去すべき ○ブロック塀の必要性について ○塀に関する規制・ルールが必要 ○他の塀などの推奨, 補助制度の充実 ○生け垣は維持管理が大変 ○管理が不十分な生け垣・庭木等の対策が必要

②その他まちづくりの方向性の具体化に向けた意見

道路・交通	○道路・歩道が狭くて危険 ○道路の整備, 確保が必要 ○歩行者, 車両, 自転車それぞれの通行環境の確保が必要 ○壁面後退, 道路状空間の確保が必要 ○行き止まり道路, クランク, 旗竿地等の改善が必要 ○一方通行化, 通り抜け交通等に関するルールの検討が必要 ○道路の舗装・補修, 振動, 騒音等について ○電線類の地中化について
緑・農地等	○農地・緑地が減少している ○農地・緑地を維持保全すべき ○農地の宅地化の抑制等, 農業・農地の維持に関する対策について ○公園の必要性について
農業関連施設(田園住居地域)	○住環境への影響を懸念
防犯・防災	○防災設備等の充実 ○街路灯等の整備が必要
空き家・空き地	○空き家が増加していることの問題・危険性 ○空き家・空き地対策について
まちづくり全般	○現在の住環境を活かした住みやすいまちづくりについて ○緑豊か, 美しい景観のまちづくりについて ○地域の個別の課題解決が必要 ○現在の住民に不利益にならないよう配慮すべき ○宅地, 農地等の土地利用のバランスを考慮する必要 ○時期を見据えてまちづくりを進めてほしい ○行政が先導してまちづくりを進めてほしい ○市民意見を取り入れ, 丁寧にまちづくりを進めるべき ○相続, 課税に関する対応の検討が必要 ○まちづくりに関する情報提供, 広報が必要 ○法令等の遵守状況の調査・指導が必要 ○道路標識, 交通規制等の整備が必要 ○交通マナーの向上 ○生活マナーの向上 ○地域コミュニティの向上